

グリーンひろば No.443

GREEN HIROBA

JA高知市

2026

1

特集
新年のご挨拶



©よい食プロジェクト



代表理事組合長 宮脇 眞道

2026

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、組合員の皆様におかれましては格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。併せて、令和6年度決算においては、組合員の皆様に大変なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

この度の経営健全化に向けた第十二次燦々運動計画では、支所集約により、地域の皆様の生活や営農活動にご不便をおかけする場面も生じてくるかと思いますが、今後はより一層、人材育成を通じたサービスの充実を図り、皆様の安心につながるよう努めてまいります。

また、昨年より、米の需要と供給のバランスが大きく崩れ、「令和の米騒動」と呼ばれる事態が生じました。この出来事を通じて農業の現場に注目が集まり、食料安全保障の観点からも、持続可能な農業に向けた適正な価格形成の重要性が広く認識され

ました。JAグループとしても、生産現場の実情を消費者の皆様に周知し、農業人口の視野を広げる取り組みを進めることで、地域農業の振興に一層力を注いでまいります。

さらに、政治的・経済的には日中関係や日米関係など不透明な要素が多く、先行きに不安を覚える局面もございます。しかしながら、こうした時代だからこそ、地域の協同組合としての役割はますます重要となります。私たちは、地域の皆様にとって「なくてはならない存在」であり続けるため、協同の精神を大切にし、信頼される組織づくりにまい進してまいります。

本年も、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げますとともに、地域農業の未来を共に築いていくため、役職員一同、誠心誠意努力してまいります。どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「JA 高知市 農協祭」



food&drink

冬至用ゆず 最盛期！

高知市土佐山柚子（ゆず）生産組合は、冬至用ゆずの出荷最盛期を迎えました。今年は裏年傾向の予測でしたが平年以上の収量となり、12月1日から7日までに昨年（約44ト）を上回る約47.39トの出荷となりました。収穫されたゆずはJA高知県営農販売事業本部を通じて全国へ出荷されます。JA高知市の出荷場では、朝早くからゆずが持ち込まれ、生産者やJA職員ら約30人が選果や箱詰め作業に追われました。

今年は、JA高知市令和7年度新採用職員の圃場研修の一環として、土佐山地区の圃場でゆずの収穫体験を実施しました。職員は「トゲが長く、収穫の際に果実や服に刺さらないように気を遣った」「ハサミの収穫に意外と力が必要だった」「大きさや形に関係なくすべての実を収穫するとは知らなかった」などの感想を話しました。

高知市土佐山柚子生産組合では、185戸のうち15戸が冬至用ゆずを栽培しています。2019年頃からは短棘系ゆずの栽培にも取り組んでおり、鋭く長いトゲによる作業負担の軽減や果実保護を目的として導入しました。現在、新たに植える苗の半分を短棘系が占め、着実に割合を増やしています。さらに、2018年3月には若い世代の育成を目的とした「バトン隊」を結成し、ドローンを活用した病害虫防除や剪定技術講習の実施など、積極的な活動を展開しています。12月にはJAファーマーズマーケット「とさのさと」で地域の学校と連携し、「第8回土



▲冬至用ゆずを選果する生産者ら

新採用職員が収穫体験



▲ゆずの収穫に挑む新採用職員

佐山ゆず祭り」を開催。生産者自らが青果やゆず加工品を消費者にPRし、販売促進活動を行うことで、ゆず産地として地域ブランド化の強化に努めています。



JA高知市

公式SNS
(Facebook・Instagram)

Facebook



Instagram



生産現場のリアルを JA 全農青果センター(株)社員が体感

生姜産地・集出荷場で研修実施

11月13日、^④生姜生産組合の岡林正恭組合長の圃場で、JA全農青果センター株式会社の成田さんを迎え、産地研修が行われました。今回の研修は、生産現場への理解を深め、販売力の強化を目的としたもので、農作業や集出荷場での実務体験を通じて、産地の現状を学ぶ貴重な機会となりました。

成田さんは圃場で生姜の収穫作業に挑戦。収穫後の土落としや親芋の選別作業も体験し、出荷に向けた細やかな工程の重要性を実感していました。

また、集出荷場では、荷受けから選別、出荷までの流れを学び、80gパックの箱詰め作業にも挑戦。高速で流れてくる包装された生姜を並べて箱詰めする作業や、生産者が

持ち込む生姜の荷受業務にも携わりました。

成田さんは、「生産から出荷までの一連の工程が、多くの人々の努力によって支えられていることを改めて実感しました」と語りました。



▲「今後の業務に大きく活かせる貴重な財産となりました」と話す成田さん（右）

家庭で育てる “自家製味噌” づくり

毎年恒例人気イベント「ふれあいみそ加工教室」

JA高知市は、ふれあいみそ加工教室を開催しました。毎年的人气イベントで今年も2回実施され、2回目となる10月30日には、21人の参加者がみそづくりに挑戦しました。

このイベントは、米の消費拡大を目的に始まったもので、好評を得て毎年継続されています。使用する

る材料は、高知県産のコシヒカリと四万十産の大豆。添加物を一切使用しないこだわりの素材で、参加者は一人あたり6キロのみそを仕込み、自宅へ持ち帰りました。自然発酵によって育てるみそは、完成までの過程も楽しめるのが魅力です。

昨年の参加者からは「去年作ったおみそが本当においしかった」「もう他のみそが食べられない」との声が多く寄せられ、リピーターが多数参加。初めての参加者からは「結構力があるのね」「明日は筋肉痛かも」といった声も聞かれ、和気あいあいとした雰囲気の中で作業が進められました。

作業後には意見交換会も行われ、保管場所の工夫や昨年の出来栄えについて情報を共有。参加者同士の交流も深まりました。

JA高知市女性部の鎌倉部長は「今日私たちが作ったおみそは、自然に発酵させて仕上げるものです。ぜひご家庭で“手前味噌”を育ててください」と笑顔で語りました。



▲蒸した大豆を麹に合わせる参加者

「真心ふぁ～むらぶ」 収穫感謝祭を開催！

しその葉ふりかけのPRも初実施

11月16日、JA高知市女性部直販部会が運営する直販所「真心ふぁ～むらぶ」で、収穫感謝祭が開催されました。

各支部も出店し、五台山支部のすももゼリーや新米の量り売り、鏡支部のたいこまん、介良支部のやきそばなど、地元の味が勢ぞろい。さらに、中央支部のバザー、高知商業高校ジビエ部による土佐シカキンパ、ジビエドッグの販売や、高知東警察署による詐欺注意喚起のブースも設けられました。また、JA高知市職員が同部鏡支部自慢の加工品「しその葉ふりかけ」の魅力を伝えるため、初めてのPR活動を実施。来場者に一口サイズのおにぎりを作って配布し、無添加・減塩・香りの良さをアピールしました。

当日は開店前から長蛇の列ができ、大勢の来場者でにぎわいました。



▲開店前の行列！



▲大盛況の店内

JA高知市
公式SNS
(Facebook・Instagram)

Facebook



Instagram



園児たちが大量収穫！

3 保育園合同でサツマイモ掘り



▲サツマイモを持ち帰る園児

11月4日、高知市農協青壮年部潮江支部の協力のもと、潮江地区岡本さんの圃場で潮江双葉園・潮江第二双葉園・南街保育園の園児たちが合同でサツマイモ掘りを行いました。

事前に部員が土起こしフォークで畑を整えておいたことで、園児たちは手で土を掘ったり、ツルを引っ張ったりしながら、顔を出したサツマイモを夢中になって収穫しました。中には自分の顔よりも大きなサツマイモを収穫する園児もいて、嬉しそうな声があがりました。

今年は植えた苗の本数こそ昨年より少なかったものの、生育は良好で、収穫量は昨年を上回る結果に。園児らは袋いっぱい詰めたサツマイモを嬉しそうに持ち上げました。

フードドライブに参加

役職員からの寄付

JA高知市は、2025年11月4日から11月14日まで、地域貢献活動の一環として協同組合連絡会議こうちが主催している「フードドライブ」に参加しました。令和5年からこの取り組みに参加しており、今年度で3回目です。

役職員に呼びかけて、各家庭で使いきれない未使用のお米、レトルト食品、インスタント食品、飲料水、調味料、菓子類、衛生用品など合計18.4kgの寄付品が集まりました。寄付品は11月25日付で中央会へ搬入され、協同組合連絡会議こうちを通じて、NPO法人こうち食支援ネットへ贈呈されました。宮脇組合長は「今年も役職員の協力で多くの品が集まりました。今後も地域に根ざした活動を続けていきたい」と話しました。



▲集まった寄付品

小学3年生 三里地区のグロリオサを学ぶ

社会科見学で出荷場とハウスを見学

高知市内の小学3年生が、社会科の授業の一環としてJ A高知市三里園芸出荷場と生産者のハウスを訪れました。毎年この時期に行われる恒例の社会科見学で、今年は市内の12校が見学しました。見学では多くのグロリオサ生産者が協力のもと、日によって異なるハウスを訪れ、ちょうど収穫直前のピークを迎えたグロリオサを観察しました。ハウスの中では、葉の先がくると渦を巻くユニークな姿に「どうしてこうなるんだろう？」と興味深そうに見入る児童や、鮮やかな花を目にして「キレイ！」

「すごい!」「赤い!」と歓声をあげる児童の姿が見られました。また、球根養成の仕組みや三里地区におけるグロリオサ栽培の歴史についても学び、地域の農業がどのように受け継がれてきたのかを知る機会となりました。見学の最後には質問時間が設けられ「なぜ三里地区でグロリオサを育てることになったのですか?」「選別のときに傷や虫がいたらどうするのですか?」など、児童たちから積極的な質問が寄せられました。



▲初月小学校



▲初月小学校



▲鴨田小学校



▲神田小学校



▲秦小学校



▲秦小学校



▲鴨田小学校

家の光
IE no HIKARI

見どころチェック!

2月号 定価900円(税込み)

特集1

ロスになりがちな食材をおいしく使いきる!
わたしの「もったいない」レシピ

半端に残った食材や野菜の皮、葉などの捨てていた部分、残りがちな乾物や調味料――。

家庭から出る食品ロスを減らすため、4人の料理家に野菜や肉や魚、調味料などをむだなく、おいしく、栄養を引き出しながら食べける方法を教えていただきます。

別冊付録

あなたの「困った」を即解決!
スマホ写真ガイド

農ライフのすすめ

育てやすい&健康によい
野菜の種プレゼント



『家の光』に関するお問い合わせはJ A高知市本所生活課 (088-883-3120) まで

11月16日 らぶ収穫感謝祭



鏡支部 たいこまん



五台山支部 精米計り売り



介良支部 やきそば



高知商業高校 ジビエ部



フォトレポート

11月13日

産地研修
(JA全農青果センター)



10月30日

ふれあいみそ加工



作業後の意見交換会

11月23日

「JA共済アンパンマン
交通安全キャラバン」

アンパンマンと一緒に交通
ルールについて学びました☆



もっと写真を見たい方へ

公式SNSのご案内
(Facebook & Instagram)



このアイコンが目印

Love

【問い合わせ先】

山田堰井筋土地改良区

☎ 0887-52-2311

＊物部川合同堰（香美市土佐山田町神母ノ木）を止水・通水する時間です。
＊天候または作業の都合等により、期間をさらに延長することがあります。ご了承ください。

3月9日（月）17時 通水

2月26日（木）0時 止水

【期間】



水路の維持管理・補修作業等のため、次の期間、山田堰井筋土地改良区全水系水路の水止めを実施します。
今年度は作業の都合上、止水期間を前倒しして延長しております。
大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

山田堰井筋土地改良区
全水系の水止め

本支所共済窓口業務終了のお知らせ

このたび、永年にわたりご愛顧賜りました本所・介良・初月・中央・三里・長浜支所窓口は、支所等再編計画に基づき、令和 8 年 2 月 20 日（金）をもちまして、共済窓口業務を終了させていただくこととなりました。

共済窓口業務の終了に伴い、各店舗でご契約いただいております共済契約につきましては、誠に勝手ながら、以下の統合先支所へ移管させていただきます。

令和 8 年 2 月 24 日（火）以降の共済窓口業務につきましては、統合先各支所および旭・鴨田・朝倉支所で引き続き承ります。

なお、介良・初月・中央・三里・長浜支所は令和 8 年 9 月 11 日をもって閉所することとなっております。貯金・貸出金等の取り扱いにつきましては、口座をお持ちのご利用者様に後日改めてご案内申し上げます。

令和 8 年 2 月 20 日をもって 共済窓口業務を終了する店舗		統合先支所
本 所	➡（契約移管）	高須支所
介良支所	➡（契約移管）	大津支所
初月支所	➡（契約移管）	秦 支所
中央支所	➡（契約移管）	一宮支所
三里支所	➡（契約移管）	高須支所
長浜支所	➡（契約移管）	潮江支所

本所金融窓口業務終了のお知らせ

また、令和 8 年 2 月 20 日（金）をもちまして、本所（高知市高須東町 4 -8）金融窓口業務を終了させていただくこととなりました。

これら窓口終了に伴うお客様のお手続きは必要ございません。

なお、ATMにつきましては、引き続きご利用いただけます。

お取引いただいております組合員・利用者の皆様には、大変なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



青壮年部 鏡支部 大崎 龍一

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。今月のユースレポートを担当します、鏡支部長の大崎です。

鏡支部では、毎年恒例の活動として、5月に金属缶の回収、7月末に鏡地区の夏祭りへの出店、そして1月に木炭作りを行っています。

これから取り組む木炭作りは、地域貢献活動の一環です。鏡地区の放棄地などにある木を伐採し、その木材を炭竈で焼いて炭にします。木材の切り出しに1日、炭竈への投入に1日、さらに火を入れてから2日間、交代で火の番をします。その後は、約2週間かけて炭竈の温度が下がるのを待ち、炭を取り出します。

完成した木炭は、1月末頃に直販店で販売し、青壮年部の活動資金に充てています。使用している炭竈は30年以上の歴史があり、劣化も進んでいるため、毎年ひび割れの補修や新しい煙突の設置、屋根の改築などのメンテナンスを欠かさず行っています。これからの炭竈が壊れない限り、この活動を続けていきたいと考えています。



▲火入れ前の祈祷



▲完成した木炭

今回のユースレポートは東部支部が担当です。どうぞよろしくお願いいたします。



女性部 初月支部 島本 敬子

あけましておめでとうございます。初月支部が行う令和7年度12月までの行事は、天候に恵まれ、なんとかクリアできました。なかでも、山々の新緑がきれいな5月28日の一日研修が一番心に残っています。

高齢化とバス代の値上がりで、年に2回の研修を令和7年度から年に1回に変更しました。参加したのは半数を超える部員に加え、新たに初月支所の支所長になった阿部支所長さんです。まず「にこ淵」へ出発。さすが仁淀ブルーの聖地といわれる訳に納得。眺めている間に朝日が差し込み、絶景に思わず歓声が上がりました。

次は土佐町の美しい棚田を見学。案内人付きだったので、山の斜面を切り開いて相川米を守ってきた苦労話も聞くことができ、棚田の風景を見ながら土佐柴刈り唄を聞きました。お昼は「さめうら荘」で土佐あかうしはちきん御膳八種類もの品数の中に、わらびの煮浸し、イタドリのパペロンチーノの春の山菜が含まれており、おいしくいただきました。

次は道の駅さめつらで苔玉づくり

体験。バイカオウレン、山アジサイ、紅葉、竜のひげ、ヤブコウジが準備されていて選ぶ方法がユニークでした。苔玉の歴史などについて三折クイズをして多く正解した人から選び、山アジサイが一番の人気でした。枯らさないための三つのポイントもしっかり聞くことができました。

最後の研修は、改修工事の早朝浦ダムを見学。総事業費は400億円、11年間の予定など、驚くことばかりでした。

今回の研修は盛りだくさんの内容でしたが、多くの感動があり、楽しい一日でした。



▲早明浦ダムの前で記念撮影

J A葬祭ルミエールこうち 紙上終活セミナー 1月号

～喪主の役割①～

葬儀の時の「喪主」って誰が引き受ければいいのかよく分からないわ。喪主って必要なの？という疑問を持たれる方がいらっしゃいます。

喪主様は葬儀の際に窓口となっていただくという大きな役割があります。そこで今回は「喪主」と「喪主の役割」について考えてみましょう。



● 喪主と施主 ●

「喪主（もしゅ）」は、葬儀の代表者（責任者）で、故人の供養全般を担う中心人物のことをいい、故人に代わって参列者を迎える遺族の代表者でもあります。挨拶をしたり、葬儀全般の決定権を持つこととなります。また、「施主（せしゅ）」は、葬儀の際に経済的な負担（葬儀に関する費用）を引き受ける人物のことをいいます。

● 誰が喪主になるの？ ●

喪主の決め方にルールはありませんが、配偶者や子どもが務めることが一般的のようです。以前は女性よりも男性が喪主を務めるケースが多かったのですが、近年では、血縁関係を優先して、結婚して姓が変わっていたとしても、実子が喪主を務めることもあります。喪主になるであろう人が高齢のためその責任を重く感じすぎたり、また、未成年の子どもが喪主になることも考えられます。状況によって、どなたが喪主を務めたらよいのか悩みどころですが、「喪主の役目を引き受けるのはこの人でなければならない」という決まりはありませんので、性別・年齢にこだわらずに、家族や親族間で相談して決めるとよいと思います。



● 喪主の必要性 ●

前述したように、「喪主」とは、葬儀の中心となる人のことですが、「具体的に何をしなければいけないのかよく分からない」という方が多くいらっしゃいます。「喪主って何をやるの？」「どこまでの人に声をかけたらいいの？」「訃報（亡くなったことのお知らせ）はいつ伝えたらいいの？ はじめに伝えておく？ 事後報告にする？」など、現在は家族葬が増えてきたことで、「喪主が何をすればよいのか？」また、「家族葬だから喪主のすることなんてあまりないのでは？」と考える方も少なくありません。しかし、家族葬だからこそ考えなければならないことがあるのもまた事実なのです。そこで、もしものときのために考えておきたい喪主の役割についてまとめてみました。

● 喪主の役割 ●

まず、喪主の役割の基本を考えてみましょう。喪主がすべきこととして、主に次のことがあげられます。（これがすべてではありません）

- 1：葬儀社との打ち合わせ・方針の決定
葬儀社・式場・プランの選定や葬儀スタイルの決定（家族葬、一日葬、直葬など）など、葬儀全体の内容を決定する役割
- 2：葬儀全体の取り仕切り
通夜・葬儀・火葬・法要までの進行管理、挨拶、遺族代表としての対応
- 3：親族・関係者への連絡・対応
関係者への訃報の連絡、参列者や供花・供物の調整、喪主として親族への対応、参列者へのおもてなし
- 4：香典や供物の管理、費用の支払い
香典の受け取り・香典返しの手配、葬儀費用の支払い、会計処理など
- 5：葬儀後の手続きや法要の主催
葬儀後の四十九日法要や年忌法要の準備、納骨・相続・役所手続きなど

まとめてみると、喪主がすべきことはたくさんありそうですね。しかし、その役割を喪主ひとりで行うとなるとどうでしょう？その任務の多さに閉口してしまうかもしれません。関係者への連絡や葬儀後の手続きなど、ご家族でできそうなことは分担して喪主様を助けてあげていただけたらと思います。そうすることで、喪主を引き受けた方の心や身体の負担も軽減し、大切な故人様とのお別れに向き合うことができると思います。「みんなで手伝うから大丈夫」という声掛けひとつで、喪主様は安心されるはずです。

「エンディングノート」・「事前相談」・「終活」・「ご葬儀」に関するお問い合わせ JA葬祭 ルミエールこうち(088)-885-5900

～ 予 定 表 ～

1月	2月
16日(金) 本所運営委員会	1日(日)
17日(土)	2日(月)
18日(日)	3日(火) 真心ふぁーむらぶ「ふるまいぜんざい」
19日(月)	4日(水) 確定申告相談会(旭支所)、高知市農業再生協議会総会
20日(火)	5日(木)
21日(水)	6日(金) 確定申告相談会(朝倉支所)
22日(木) 関西土佐会(市場)来組	7日(土)
23日(金)	8日(日)
24日(土)	9日(月)
25日(日)	10日(火)
26日(月) オープンカンパニー	11日(水) 建国記念の日
27日(火)	12日(木) オープンカンパニー
28日(水)	13日(金) 確定申告相談会(大津支所)
29日(木) 定例理事会	14日(土) JAcademy③「こんにゃく&田舎寿司作り教室」
30日(金) 令和8園芸年度「高知県園芸品展示品評会」	15日(日)
31日(土) 一般公開	

■若い頃(学校の)生徒たちといったけの菌を木にコンコンとうめこむ作業をしていたことが昨日のように思いますが、あれからもう50年以上たっています。きのこのおいしい季節になると思い出します。

ケイイチロウ

■これからは暖かな鍋の季節! 大好きなえのき、しいたけ、しめじ等入れて、おいしく頂きます。体がぽかぽかと暖まりますネ。

サーチャン

■「きのこ」大好き人間。しいたけを焼き甘酢にひたす。

M・S

■きのこの中で、しいたけは、子どもの頃から、苦手です(匂いなど)。健康に良いことは、わかっていますが…。克服したいと思います。

u・Y

■きのこ類は、全て大好きです、中でも、なめ茸が一番好きです。柴犬モチちゃん

K・H

■今、ダイエットのために、きのこを頑張って食べています。少し痩せてきました。

K・H

■えのき、まいたけ、しめじ、エリンギなどは大好きですが、しいたけだけはどうしても食べられません。チョビちゃん

なっちゃん



★今月のテーマ…

『きのこ』

■好きなきのこは「えのきたけ」です。おみそ汁に入れるのが大好きでそのおみそ汁から始まる1日は幸せです。

むぎすけ

■焼いたいたけでビールを飲むこと。

ムラマサ

■いよいよ鍋の季節になりました!! 鍋といえは色々な「きのこ」を入れて、ビールもあれば最高です!!

なっちゃん

■きのこの中で一番多く食べるのはしいたけ。汁物、焼く、煮る、揚げ物と何にでも入れて、食べます。大好き。

Y T

今回のテーマ「きのこ」。

きのこの好みは十人十色。同じきのこでも、えのきのお味噌汁で一日が始まる方、なめ茸に夢中な方、ダイエットの味方になっている方…。そして「焼きたけ+ビール」という鉄板コンビにうなずいた方も多いのではないのでしょうか。

きのこは栄養も豊富で、どんな料理にも使える万能な食材。これからの季節、皆さんの食卓にきのこがますます活躍すること間違いなしですね。

次回のテーマは…

『冬の楽しみ』

あけましておめでとーございませう。まだ寒い日が続きますね。寒い冬だからこそ楽しめる鍋や外遊び、こたつで過ごす幸せなひとときを教えてください。

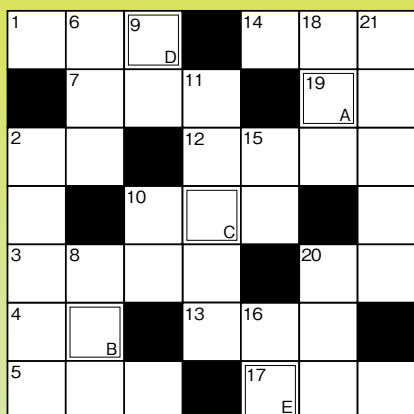
クロスワードパズル

CROSSWORD PUZZLE

パズルを完成させて

プレゼントをGETしよう!!

何でしょうか?
AからEを並べてできる言葉は
出題・ニホン



ヨコのカギ➡

- ①正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- ②どら焼きに挟み込まれているものの
- ③おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ。
- ④交差——。及第——
- ⑤右手が——、という人が多数派です
- ⑦本を読み終えること
- ⑩ガラガラとものを洗います
- ⑫旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- ⑬フラや木やレンガの家を建てる童話があります
- ⑭漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- ⑰椅子のこと。ロッキング——。
- ⑲アルカリと混ぜると中和します
- ⑳焚くとよいかおりが広がります

タテのカギ↓

- ②メレンゲを作るときに使う道具
- ⑥鍋料理の締めにも使う麺
- ⑧晴れかなあ、雨かなあ
- ⑨牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- ⑩令和8年の干支です
- ⑪歯ブラシにつけます
- ⑮自分の兄弟姉妹の息子
- ⑯ダルメシアンは——模様の犬です
- ⑰書初め大会で——に選ばれた
- ⑲受験生が空欄に書き込んでいくもの
- ⑳単位はアンペアです

11月号の答え

A B C D E
「ブンカサイ」



キリトリ

住所（〒 ）

氏名

電話番号

年齢

職業

今月号で良かった記事

お便りのテーマ「冬の楽しみ」その他ご意見など

匿名希望の方はペンネームを（ ）

PRESENT!

正解者の中から抽選で5名の方に
「農協全国商品券(2,000円分)」をプレゼント
いたします。

(とさのさと、ギフトガーデンルピナス)
他で使えます。

※プレゼント当選者の発表は、商品の発送を
もってかえさせていただきます。

FAX・Eメール・ハガキでの応募はこちら



(088) 883-6935



kouhou@kochishi.ja-kochi.or.jp

ケータイからも
簡単送信



スマホにも
対応しました

QRコード



締切
1/31
(当日消印有効)

【お客さまの個人情報について】

当組合の広報誌に関して、お客さまから個人情報をいただく場合は、①広報誌への掲載・編集、それらに関する確認 ②投稿者・当選者、入選者、入賞者の発表 ③プレゼントの発送 ④当組合の提供する商品・サービスに関する各種の情報のご提供等のためにのみ利用させていただきます。これらの利用目的以外にお客さまの個人情報を無断で使用することはありません。

令和8園芸年度

高知県園芸品展示品評会

2026. 1/30(金)・1/31(土)
10:00～17:00 10:00～16:00

場所 野菜花き **JA高知ビル1階** (高知市北御座2-27)
くだもの **とさのさとアグリコレット**
(高知市北御座10-10)

令和8園芸年度園芸品展示品評会
出品物の展示・予約販売

第1会場(野菜・花き)	JA高知ビル1階
第2会場(くだもの)	とさのさとアグリコレット内
予約販売	1/30(金) 10:00～17:00
予約品引き渡し	1/31(土) 12:00～16:00

※アグリコレットは1/30(金)9:00から整理券を配布します

体験コーナー
1/31(土)10:00～16:00
JA高知ビル

- 野菜摂取量計測コーナー
- 農業VR体験コーナー

IoTクラウド「SAWACHI」を使ってみよう!!
SAWACHIの操作体験や利用促進
・ログイン支援など

展示品
やさい・花 即売会
1/31(土)10:00～15:00 / JA高知ビル
展示野菜を詰め放題!
たくさんのお花から選んでご購入できます!!
※数量限定、なくなり次第終了

くだもの 即売会
1/30(金)・1/31(土)とさのさとアグリコレット

お問い合わせ先 **JA高知県 営農販売事業本部** TEL088-837-6310

お車でお越しの場合、JA高知ビルの西側の駐車場にお止め下さい。

理事会だより 11月27日開催 定例理事会

出席理事 19名/22名

報告事項

- 令和7年10月末事業進捗状況
- 令和7年度 上半期 マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策に係る取組状況等
- 「支所等再編方針」における決定事項
- 大口貸付案件
- 令和7年度 JA 共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要

議 事

- 第1号議案 出資の減口
- 第2号議案 役員賠償責任保険の継続加入
- 第3号議案 令和9年度定期採用職員募集
- 第4号議案 年末賞与の支給
- 第5号議案 自動車安全運転サービス内規の変更
- 第6号議案 懲戒に関する内規の変更
- 第7号議案 永年勤続職員の表彰に関する内規の変更
- 第8号議案 高知市農業協同組合企業年金規約の変更
- 第9号議案 共済端末機の導入(入替)
- 第10号議案 国費補助(新基本計画実装・農業構造転換支援事業)を活用した高知ライスセンター改修工事の実施

※慎重な審議の結果、全議案が可決しました。

キリトリ

郵便はがき

85円切手
をお貼り
ください

7 8 1 8 5 5 1

JA高知市
総務課広報係

1月号 クロスワードパズルの答え

2/3
(火) 10:00~

「頃のご愛顧に感謝して…」
真心ふあ〜むらぶ
直販所らぶ前テントにて

**ふるまい
×
ぜんざい**

限定
200 食



イメージ画

※なくなり次第終了となります

JA高知市女性部次世代向けイベント
JAcademy2025
〜ジィアカデミー〜
手作りこんにやく
&
プチ田舎寿司作り教室

2/14 [SAT] 13:30~15:30(受付/13:00~)

【場 所】JA高知市一宮加工場
(高知市須野中町14-17)
【対象者】高知市在住および勤務の
概ね60代までの女性
【金 額】部員800円/一般1,200円
【定 員】10名
【持ち物】エプロン

【地図】



※部員とは一年会費800円が必要、様々イベントと参加費が異なります
イベント当日に部員加入もできます



【問合せ】JA高知市生活課生活課
☎088-883-3120 (平日 朝10時~12時・13時~17時)

**JA 農業
ことば辞典**

「**食農教育**」ってなに?

「食育」に「農業の知識や体験」をプラスしたものです。

食がもつ幅広い役割の大切さを伝える「食育」。これに、食を支える「農業」の知識や体験を含めたものが「食農教育」です。

JAグループでは、食べる行為そのものの大切さはもちろん、その背景にある動物や植物の「いのち」の大切さ、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割などを伝える取り組みを行っています。地域の農業を知り、実際に体験することで理解も深まりますね。

言われてみれば、普段の食事で農業との関わりをあまり意識しませんね…。
JAに相談して、体験してみようかな。



JAグループ 林修



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

いごっそう & はちきん

第116回

初月支所管内

杉本 ^{な ゆ}菜柚ちゃん (11)
^{ひ な}緋菜ちゃん (8)



今月の表紙モデルは、初月地区でやっこネギ35[㍓]、ポップコーン専用トウモロコシ5[㍓]を栽培している杉本佳祐さんの娘さん、菜柚ちゃんと緋菜ちゃんです。

菜柚ちゃんは明るくてしっかり者。撮影中も緋菜ちゃんを気遣いながら、たくさんお話ししてくれました。緋菜ちゃんは少し緊張しながらも、菜柚ちゃんと遊ぶときや佳祐さんの声掛けに朗らかな笑顔を見せていました。

二人のブームはポケモンとシールで、ぷくぷくした立体シールが好きだそうです。菜柚ちゃんは和紙素材や動物の絵柄、緋菜ちゃんはサンリオキャラクター（ポチャッコ・ポムポムプリン・クロミ）など、自分の好きな系統のシールを集めています。

美術教室にも通う二人は、さまざまな作品づくりにも挑戦しています。なかでも、レジン作品は感覚を頼りに仕上げていくことが楽しいと話し、レジン以外にも菜柚ちゃんはフェルトでヘアバンドを作ったり、緋菜ちゃんは粘土に黄色い絵の具で色をつけたピカチュウを作ったそうです。

2025年8月に家族で大阪万博を訪れ、フランス館をはじめ、マレーシア、ヨルダン、サウジアラビアなど、さまざまな国のパビリオンを巡りました。

異文化に触れる体験はとても新鮮で、特にペルー館が思い出に残っているそうです。「お肉料理がとてもおいしかった！本物のアルパカを見た！」と嬉しそうに話してくれました。

佳祐さんは「常に考えて答えを出せる人間に育ってほしい。他人に左右されず、自分で居場所を見つけられる人間になってほしい」と願っています。二人は、日々の遊びや学び、旅行や創作活動を通して、自分の意思で人生を歩みながらのびのびと成長しています。

◀杉本さんが栽培するポップコーン専用のトウモロコシ「MAMANARU POP」

サニーマート万々店・山手店、とさのさとで販売されています。

Instagramアカウント【農園ママンアルダイチ】小ネギのおすぎ/高知

@sugimotonouenn.konegi

